

Recommend★New Arrival

メディア表現学科

『少女マンガ ジェンダー表象論—
〈男装の少女〉の造形とアイデンティティ』
押山美智子 <726.1/OSH>
“男装の少女”というヒロイン像を切り口に、日本の少女マンガにおけるジェンダー表象がどのような形で構築され、変容していったのかを探る。

造形表現学科

『ジュエリー制作の技法事典』
ジンス・マクグラス/著 <756.3/MCG>
ヨーロッパで使われている技術を簡潔に紹介し、制作の指針となるように編まれたジュエリー技術の百科事典と言うべき書籍。多くの技術を網羅し、要所要所には実際の制作場面もある。

ビジュアルデザイン学科

『芸術脳』
茂木健一郎/著 <704/MOG>
芸術は…苦悩か、快楽か、爆発か？創造する脳の力とは—。10人のクリエイターとの対話集。現代日本社会を豊かに生き抜くヒント満載。

ファッションデザイン学科

『小裂帖』
志村ふくみ/著 <753.3/SHI>
人間国宝・志村ふくみが、染織を始めた頃から三十年ほどの間に、染めて織った布の端裂を貼りためておいた『小裂帖』を再現。

環境・建築デザイン学科

『LOT/EK urban scan』
<702.53/LOT>
ニューヨークを拠点に活動する建築家ユニットLOT/EK。デジタル・テクノロジーを駆使したデザイン建築で話題となる。23のプロジェクトが紹介されている。

プロダクトデザイン学科

『プロダクトデザインのカタチとココロ—デザイナー10人の作品&インタビュー』
<501.8/PUR>
現在の日本のモノ作りで活躍するプロダクトデザイナー10人の、各作品ギャラリーと本音インタビューを収録。

Ranking Apr-Sep

2007年度前期の間で利用の多かった資料の紹介です。

＜図書＞

1. 陰日向に咲く 劇団ひとり/著 <913.6/GEK>
2. 夏と花火と私の死体 乙一/著 <913.6/OTS>
3. 失はれる物語 乙一/著 <913.6/OTS>
4. +Designing the illustrator <007.63/PUR>
4. 死にぞこないの青 乙一/著 <913.6/OTS>
4. GOTH 僕の章 乙一/著 <913.6/OTS/2>
- 堂々1位は劇団ひとり! されど乙一強! 上位を独占。ミステリー、ホラー、あらゆるジャンルを手懸ける人気作家です。

＜DVD＞

1. プラダを着た悪魔 <A778.253/PUR>
2. FREEDOM 1 <A778.77/FRE/1>
3. FREEDOM 2 <A778.77/FRE/2>
4. FREEDOM 3 <A778.77/FRE/3>
5. かもめ食堂 <A778.21/KAM/1>
5. 嫌われ松子の一生 <A778.21/KIR/1>

「FREEDOM」の人気は10月以降も高いです。上位には「ゆれる」「涙そうそう」などもランクインされており、圧倒的に邦画&アニメは強しという結果です。

後期授業が始まり、あっという間に芸工祭も終わり、本格的(?)勉学の秋! 芸術鑑賞の秋! スポーツの秋! 何かを始めるには最適な季節の到来です。先日の図書館主催の選書ツアーにより、皆さんにさらに身近に感じてもらえる図書が入りました。そして読書の秋! 図書館でゆっくり秋の時間を楽しんでください。



ビブリア

—図書館から学生・教員の皆さんへの情報発信—

2007年10月22日
発行: 神戸芸術工科大学図書館
http://www.lib.kobe-du.ac.jp
Vol.9

「学生選書ツアー」に行ってきました!

9月22日(土)に図書館の主催で「学生選書ツアー」を実施しました。「学生選書ツアー」とは、学生みなさんに書店に行ってもらい、学生さんの視点で読みたい本、興味がある本など、図書館に置いてほしいと思う本を、実際に手に取りながら選んでいただくという企画です。

当日は天候に恵まれすぎでしたが、学生さん6名(ビジュアル5名、ファッション1名)と図書館職員3名が、元町から三ノ宮まで歩いて移動し、vivo, vabookstore(デザイン書等)、ランダムウオーク神戸元町店(洋書専門店)、西山洋書(自動車等の洋書専門店)、紀伊國屋書店の4店を訪れました。全部で図書77冊、DVD8点を選んできました。また、最後に意見交換会を行い、ツアーに参加した感想などを聞かせていただきました。

これらの図書の一部は、選んだ学生さんによるお薦めPOINTを書いたPOPと一緒に閲覧室1F展示コーナーに展示しています。一般の図書と同じように貸出ができますので、どうぞご利用ください。

6名の学生さんには、夏期休業期間中にもかかわらずご参加いただき、本当にありがとうございました。



参加した学生さんたちの感想

- ・いろいろなジャンルの本が見られてよかった
- ・実際に手にとって見られたのでよかった
- ・(お小遣いの都合で)自分で買えない本が買えた
- ・ジュンク堂書店に行きたかった【今後の検討課題にさせていただきます】
- ・4店を巡るのは疲れた【今後の検討課題にさせていただきます】

information

現在の展示コーナー

◆図書
『学生選書ツアー』に行ってきました! 9月22日開催の学生選書ツアーで選ばれた本のうち16冊を、参加した学生の方々の手書きポップ付きで展示中。皆さんなかなか素敵なポップを書いてくださっています。一見の価値あり! もちろん本も一読の価値あり!



「ぶち 神戸ビエンナーレ2007」
皆さんはもう見に行かれましたか? 10月6日から11月25日まで開催の「神戸ビエンナーレ2007」に出展しているアーティストの資料を展示中。

◆AV
「アニメーション&CG作品特集」
当館で人気の『FREEDOM 4』、「哲学的ホラー」『ルナシー』等、アニメ・CG作品の特集。

貴重書展示のお知らせ

10月22日から11月24日まで2階展示場にて、「世界の手漉紙展」を開催。詳しくは次ページで。

★今号のSpecial feature★

すぐに必要な資料が図書館に無い!! そんな時は「相互利用」! 詳しくはP3で

先生のおすすめ!

~ビジュアルデザイン学科 赤崎正一教授~

建築家・篠原一男 幾何学的想像力
多木浩二/著

本学の客員教授でもある多木浩二先生の近著を紹介いたします。

本書は2006年に逝去した建築家・篠原一男に関する、多木先生の40年余に渡る全論考を集成したものです。多木先生は篠原一男の最大の理解者でもあり、同時に真の批判者でもありました。本書には二人の出会いとなった1964年の小論や、篠原の弟子である坂本一成東京工業大学教授（建築家）との最新の対話なども収録されています。また、いまや見るのがまれになった多木先生自身の撮影による、篠原作品の決定的紹介である多くの写真も掲載されています。篠原・多木という二人の巨匠の交錯する本著を詳解することは僕自身の力量には余ることなのですが、個人的に強く印象づけられた部分について述べてみます。多木先生が最も多く紙幅を割いて論じられているのは1966年の「白の家」と1976年の「上原通りの住宅」という二つの住宅作品です。この2作品を典型とする篠原作品の変遷を多木先生は「象徴論的から意味生成論的」と記されています。「上原通りの住宅」については「あらかじめ予想された意味から自由にする……中略……無機的諸要素の隣接的関連に意味の形成を委ねる」と論じられています。ここで語られていることは建築のみならず、多くの現代デザインを考える上で重要な思考だと思えます。この背後には常に我々日本人にとって問題であり続ける「伝統と近代」の問題があるでしょう。無限定に「近代」を前提として語られがちな現代デザインの世界において、いかに「近代主義」を相対化するかということこそが、篠原一男のデザインが挑み続けたことでもあるはずです。環境・建築デザイン学科の学生にはもちろん、他のすべての学科の学生諸君に薦めたいと思います。



*図書館1階に所蔵しています。

(523.1/SHIt)

The Gallery of KDU Library

図書館2階の展示コーナーにおいて、以下の展示会を開催します。



期間：2007年10月22日～11月24日

紙はいつ頃発明されたのでしょうか？

長い間、紙は中国の蔡倫（さいりん）が西暦105年に発明したと言われていましたが、最近ではそれ以前と推測される遺跡からも紙が発見されています。しかしながら、蔡倫は現在の製紙法を完成させた偉大な人物と言えるでしょう。

この製紙法は、一つは東のルートとして、朝鮮から日本に伝えられ和紙となり、もう一つは、西のルートとして中央アジアの諸国からヨーロッパ各国、北アメリカへと伝えられて洋紙となり、世界に広まっていきました。

今回の展示では、世界の代表的な手漉紙をご紹介いたします。これらの紙は、各地域の特殊な原料を使用しているの、紙質を比較対照する上でも大変興味深い資料です。

手で紙を漉（す）くという技術には、昔の職人仕事の名残がうかがわれ、最新の機械漉きで作られた紙に勝る長い歴史が感じられます。一種の芸術的工芸品といえる手漉紙を、どうぞご覧下さい。

また今回、紙が発明される以前に、エジプトで使用されていた書写用のパピルスも一緒に展示しています。合わせてご覧下さい。



蔡倫(50年?-121年?)



エジプト考古学博物館所蔵のパピルス画

Special feature

図書館のホームページで「是非読みたい、借りたい」と思う本を検索したら「無い、残念っ!」と諦めたことはありませんか? そんな悲しい思いを解決する方法をご紹介します。

☆知ってください! 『相互利用』

『相互利用』とは、必要な資料が当大学図書館に所蔵されていない場合に、学外の図書館の資料を利用することができるサービスのことで、『相互利用』には3つのサービスがあります。

●現物貸借

図書などの資料そのものを取り寄せて借りること

●文献複写

雑誌・論文などの文献の複写物(コピー)を取り寄せること

●訪問利用

他大学の図書館を直接訪問して資料を利用(閲覧・複写)すること

特に「現物貸借」と「文献複写」のことを総称して「ILL (Inter Library Loan 図書館相互貸借)」といいます。

「現物貸借」は、他大学の図書館などから、図書そのものを郵送で借り受けるサービスです。郵送料は各自負担です。貸出期間等の条件は、入手先機関の指定に従いますが、概ね2~3週間程度です。原則として期間延長はできません。なお、借りた図書は館内での閲覧に限定され、館外への持出しはできません。複写は著作権の範囲内で行えます。貴重書、劣化資料などは断られる場合があります。

「文献複写」は、雑誌・論文等の複写物を、郵送で取り寄せるサービスです。1枚あたりの複写料金は機関により異なりますが、概ね30円~50円位で、必要枚数分の金額と郵送料を自己負担して頂きます。なお、著作権法の関係から複写できる範囲には制限があることもご了承ください。

「訪問利用」は、他大学等の図書館を訪問し利用することです。原則として相手館に対し事前に申込みをしておく必要があります。また、図書館発行の紹介状の持参を求められる場合もあります(紹

介状なしに直接訪問すると断られる場合があります)。他大学等の図書館を利用される場合は、必ず前もってご相談下さい。相手館への連絡や紹介状の発行など必要な準備は図書館が行います。

以上の『相互利用』の手続きは全て図書館カウンターで行います。『相互利用』は図書館間のサービスなので必ず図書館を通してください。

☆どこの図書館にあるか、検索してみよう!

利用する検索サイトは国立情報学研究所(NII)です。

Webcat Plus (<http://webcatplus.nii.ac.jp/>)

Webcat (<http://webcat.nii.ac.jp/>)

国立情報学研究所は、情報学という新しい学問分野の学術総合研究所です。全国の大学図書館等が所蔵する図書・雑誌の横断検索ができます。

図書館のホームページの[学外データベースへのリンク]から[学外資料の検索]の画面の[国立情報学研究所の検索画面]をクリックするとWebcatの画面になります。必要な情報を入力し、検索するとその図書の書誌情報と所蔵している各大学の一覧が表示されます。

●探している図書が近隣図書館にあった!

近隣図書館とは、神戸市外国語大学・兵庫県立大学神戸学園都市学術情報館・流通科学大学・神戸市立工業高等専門学校・兵庫県立大学明石学術情報館・神戸市看護大学です。

訪問先の図書館で入館の際に学生証もしくは教職員証を提示してください。図書の貸出を希望される場合は、事前に本学図書館カウンターで共通閲覧証を受取ってください。1人2冊、2週間まで貸出できます。その他の利用については各図書館の指示に従ってください。返却は本学図書館にしてください。本学図書館から相手先図書館に郵送返却します。郵送料は自己負担です。但し、各図書館によって異なるので、本学図書館で指示を受けてください。

学園設置校である大阪商業大学や大阪女子短期大学で貸出を希望される図書や複写したい資料などがある場合は、複写料金及び送料等の経費については原則として不要です。

図書館にはこのようなサービスがありますので、研究や教育、論文作成などに大いに活用してください。